

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	北本市					
提案事業名	北本農業の価値向上推進事業					
事業期間	令和元年度 ～ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 地場物産館桜国屋の売上額					
	(成果検証の具体的な方法) 毎年集計している地場物産館桜国屋の売上額の増減をみて、事業効果の検証を行う。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (H30年3月時点)	307,399,910	目標値 (R3年3月時点)	320,000,000	実績値 (R3年3月時点)	312,941,225
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページ				

【事業効果の整理・原因分析】

令和元～2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 北本ブランド創出事業	○ △ ×	地域資源を活用した北本ブランドを創出するために、ブランド認定審査会や検討会議、研修会、商談会を開催したほか、作成したブランドデザインや販促ツールを展示発表会で発表することで、販路拡大や知名度向上を図り、付加価値の向上を推進できた。しかし、地場産品を販売している桜国屋の営業については、新型コロナウイルスによる外出自粛要請等の影響が大きく、売上増加に至らなかった。
② 認定農業者支援事業	◎ △ ×	北本市認定農業者協議会によるサポート体制を構築し、付加価値の高い農業の推進に取り組む認定農業者を支援することで、営農規模の拡大や持続的な農業経営を推進できた。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	北本ブランド認定品として新たに5品を認定し、農産物のPRや高付加価値化を進めることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルスによって事業内容を変更せざるを得なかったことや、地場物産館桜国屋の営業にも影響があったため、地場物産館桜国屋の売上増加という成果に結びつかなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	作成した販促ツールを地場物産館桜国屋等で活用することで、引き続き市内農産物の知名度向上、高付加価値化を推進し、地場物産館桜国屋の来客及び売上の増加に取り組む。